



No.146 2019. 7

発行 真言宗豊山派

北田山寶泉寺

所沢市北岩岡130

編集 色摩真了

ホームページアドレス

takaranoizumi.com

僧侶の常識を打ち破れ!!

～法話に必要な7つの要素～

10年ほど前から、志をともした僧侶仲間と「法話研鑽会」という会で活動をしています。

江戸六地蔵で有名な巣鴨の真性寺や、足立区の西新井大師での法話会。居酒屋さんを借りての声明と法話のライブなどがメインの活動になるのですが、その会で年一回、6月に研修会を開催しており、今年は特にエキサイティングな内容でしたので簡単にご紹介いたします。

タイトルは上記のとおり。講師は寺社旅研究者という肩書をもつ堀内克彦さんという方。お寺が好きすぎて、お寺に関わることを生業とされた氏の活動は、日本各地で座禅や写経が行えるお寺の紹介や（寶泉寺も紹介されています）、お寺の利点を活かし、男女の縁をとりもつ「寺社コン」をはじめ（なんとこれまで330回開催され、500組のカップルが

誕生しているそうです）、維持の難し

くなった寺社を立て直すための

企画運営など多種多様。さらに

現在はその手腕が認められ、

多くの宗派と連携し、仏教の

良いところを発信する事業に

携わっていらっしゃる。

（詳細はHPをどうぞ

「ほーりーの旅ブログ」

<http://syukubo-blog.com/>



堀内氏らと記念撮影

そんな堀内氏より、特に「法話」という観点から私たち僧侶の常識が社会の要請とどれほど離れてしまっているかを100分間にわたりお話していただきました。印象に残ったところを記します。



① 「法話には原体験が足りない」→そもそもお坊さんには

伝えたいことがあって話しているのか。原体験がないお坊さんの話は經典の内容の羅列になりがちでつまらない。

② 「法話には悪ふざけが足りない」→真剣にふざけることの大切さ。

③ 「法話には自己紹介が足りない」→重要なのは何を話すかよりも誰が話すか。聴衆はお坊さんの原体験が知りたい。

④ 「法話には狂気が足りない」→釈迦も空海も親鸞もある種、ぶつとんだ人間だった。先導する者はそれぐらいの気迫が必要。等々。

うんうんと、素直にうなずけてしまうことの連続でした…。

堀内さんが行う「寺社コン」は当初、仏教界からずいぶんと非難されたそうです。しかし、お寺の素晴らしさを広めるという側面が認められ現在は、それなりに好意的に受け入れられているとのこと。とはいえ、これらがお寺側に完全に受容されるのはかなり難しいことですから、

堀内さんの旅はこれからも続くことでしょう。



質問する受講生

私自身、今回の研修会で自分がまだまだ固定観念に縛られていることを痛切に感じました。

堀内さんは「1割だけ変える努力をしてください」ともおっしゃっていました。「まずは1割」、それも簡単なことではありませんが、挑戦していきたいと思えます。

本堂に天蓋が仲間入りしました♪

「天蓋（てんがい）」とは仏さまや、住職が座る場所の頭上に掲げられる傘のこと。外敵や日光から身を守る役目をもっています。

その天蓋がこのたび寶泉寺本堂に設置されました。今回かかった費用は約400万円。この費用は平成23年から平成30年までに納めていただいた新盆仏具料が充てられています。

奉納してくださった皆さまには改めて心より御礼申し上げます。



中央の大壇が取り外され、天蓋本体が運び込まれました。



わわわわ足場を組んで三人がかりで設置します。

実物をぜひご覧ください！

令和改元記念!!

長谷寺団体参拝のご案内



向源寺・十一面観音像
(出典『日本の仏像』講談社)

今年の10月23日～25日。3年ぶりとなる長谷寺団体参拝を企画します。今回の旅は、長谷寺から北陸に進み、曹洞宗総本山、永平寺参拝と金沢観光がメインとなります。また、滋賀県は向源寺の国宝・十一面観音像もお参りします。こちらの観音さまは日本一美しいという評判も。長谷の観音さまとどちらが皆さまの好みでしょうか。

詳しくは寶泉寺までどうぞ。お友達お誘いのうえお申込みください。先着30名限定となっておりますので、お申込みはお早目に。

お盆合同法要

お坊さんが檀徒各戸の盆棚でお経をお唱えするのを棚経といい、お盆の習わしでした。それに替わって寶泉寺では、本堂でお盆に帰られたご先祖様のための合同法要を行っております。どうぞお参りの際にお気軽にご参加下さい。

日時 8月13日(火)

午後3時45分 お盆のお話

午後4時 法要開始

会場 寶泉寺本堂

集合 「るり洞」

盆供・施餓鬼会

昨年より盆供の申し受け期間を改めさせていただきました。施餓鬼会の準備が目いっぱいになり少し余裕を持ちたいとの思いです。盆供、施餓鬼塔婆のお申込みはぜひぜひ 7月21日(日) から 7月末日(水) までの期間中にご持参をお願い致します。ありがたいのですがこのお知らせを見てすぐにお出でになる方もおられます。わずかな留守のタイミングでお目にかかれないことも出てきますので敢えて期間中にとお伝える次第です。

墓地清掃後の花柄や草、剪定枝などはゴミカゴへ、古いお塔婆は大師堂裏の塔婆置き場へお願い致します。可燃ゴミ類は軽トラック荷台へも結構です。

なお、お盆の後の竹などを含むお供物類は庫裡北側の所定の場所へお願い致します。市の「クリーンセンター」に処分をお願いしておりますので、その際は可燃、破碎、不燃などご家庭での普段通りの分別をしていただくとうれしく思います。

編集後記

- 本堂の中心に天蓋(てんがい)が備わった。大般若経典の次は天蓋とねらいを定めてこの時期を待っていた。はからずも令和元年を期すことになりうれしさも一入となった。皆様のご協力にお礼を申し上げる。
- 雨上がりは刃物の切れが良いので雑木林の下草刈りに励んでいる。去年はから梅雨で刈り込みが不十分でその分、今年はちょっと手間がかかっている。こんな肉体労働は好きなのだが、長いこと

右肩の不調が続き特にこのところ痛みが出た。先日 MRI をとったので今週末には今後の方針が決まる。

- 国会のテレビ中継がないなあと思っていたら委員会が開かれていないという、道理で中継もないはずだ。与党、野党も言いつばなしで歩み寄りがなさそう、このままタンタンと、シュクシュクと多数決で決まっていくのは怖い気がする。一頃言われた熟議はどうしたのだろう。 Jul. 2. 2019(琴)